

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	アジア動物専門学校
設置者名	学校法人佐山学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
文化教養専門	動物総合学科ペットスタイリストコース	夜・通信	20 単位	7 単位	
	動物総合学科ドッグトレーナーコース	夜・通信	23 単位	7 単位	
	動物総合学科キャットマイスターコース	夜・通信	9 単位	7 単位	
	動物総合学科動物福祉介護コース	夜・通信	9 単位	7 単位	
	動物水族飼育学科	夜・通信	11 単位	7 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上に公開
<http://aaa.ac.jp/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	アジア動物専門学校
設置者名	学校法人佐山学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上に公開
<http://aaa.ac.jp/koukai.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医療法人社団忠禎会理事 長 埼玉葛クリニック院長 埼玉県医師会理事	令和7年5月8日より、 4年以内に終了する会 計年度のうち最終のも のに関する 定時評議員 会の終結の 時まで	学生及び職員の健 康管理
非常勤	有限会社皆川獣医科医 院代表取締役	令和7年5月8日より、 4年以内に終了する会 計年度のうち最終のも のに関する 定時評議員 会の終結の 時まで	法人運営及びコン プライアンスに関 する意見
非常勤	学校法人国際ビジネス 学院理事長 一般社団法人日本動物 専門学校協会名誉会長	令和7年5月8日より、 4年以内に終了する会 計年度のうち最終のも のに関する 定時評議員 会の終結の 時まで	ペット業界の動向 に関する意見

		時まで	
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
（備考）		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	アジア動物専門学校
設置者名	学校法人佐山学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) カリキュラム検討委員会を毎月1回定期開催し、不定期に年5～10回開催して、学生の習熟度を精査しながら当該年度のシラバスの内容を確認している。当委員会のメンバーは、各コースの教員で構成され、オブザーバーとして校長が出席している。定期の委員会では、スケジュールの進捗度と生徒の習熟度が議題の中心となる。不定期の委員会は、主に後期中盤から後半に開かれ、定期委員会の内容とGPA評価に基づいた学生の成績評価を参考資料として、シラバスの改定を行う。 シラバスの公表時期 4月	
授業計画書の公表方法	ホームページ上に公表 http://www.aaa.ac.jp/koukai.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学修成果の評価については、学校のホームページ上に公表しているシラバスに授業科目ごとに記載している。また、入学時のオリエンテーションにおいて、全学生に対して履修ガイドを配布し詳細な説明を実施するとともに、保護者にも送付し周知徹底している。

単位の認定は、下記の2項目を基準としている。

① 授業への出席：出席率や授業態度を評価して、学生の学習意欲を把握し、点数化している。

② 筆記試験及び実技試験：学修内容の習熟度を試験によって評価している。

①②を総合的に本校で採用しているGPA基準で評価して、単位認定の可否を判定している。

試験問題の難易度は、試験問題作成教員に対して、平均でGPA1.5程度の問題レベルとするよう指示している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価：成績評価は授業科目毎の成績評価方法により評価を行う。成績評価は秀(90～100点 GP4)・優(80～89点 GP3)・良(70～79点 GP2)・可(60～69点 GP1)を合格とし、可(GP0)を不合格とする。GPAの算出は、各科目のGP×単位数の合計÷総単位数で求め、平均値が1.00未満の学生には、勉学に対する注意喚起がなされ一層の努力を求める。

成績の分布：各授業科目と個人のGPA評価正規分布表を2種類作成し、カリキュラム検討委員会や個人面談の参考資料とする。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページ上に公表
<http://www.aaa.ac.jp/koukai.html>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定方針の策定：

本校建学の精神に基づき、豊かな人格形成に努め、真に動物との共生実現に寄与できる心豊かなスペシャリストを育成し、社会ニーズに応えられる人材の輩出を第一義とする。これにより、本校で定めた卒業認定基準に沿って判断される。卒業判定会議により協議され、再評価後の単位取得状況が、下記の要件を満たす者が卒業認定される。

①取得単位数が所定の単位数の90%以上を取得していること

②実習科目の単位を全て取得していること

③ 所定の学費を完納していること

卒業認定を受けられなかった場合は、留年もしくは自主退学となる。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページ上に公表 http://www.aaa.ac.jp/koukai.html
----------------------	---

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	アジア動物専門学校
設置者名	学校法人佐山学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ上に公表 http://www.aaa.ac.jp/koukai.html
収支計算書又は損益計算書	ホームページ上に公表 http://www.aaa.ac.jp/koukai.html
財産目録	ホームページ上に公表 http://www.aaa.ac.jp/koukai.html
事業報告書	ホームページ上に公表 http://www.aaa.ac.jp/koukai.html
監事による監査報告（書）	ホームページ上に公表 http://www.aaa.ac.jp/koukai.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	動物総合学科ペット スタイリストコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	86単位	36 単位	単位時間 ／単位	50 単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		77人	0人	3人	2人	5人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	動物総合学科ドッグ トレーナーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	86単位	35 単位	単位時間 ／単位	51 単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		77人	0人	3人	2人	5人	

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
----	-----	-----	-----	-------

文化・教養		文化教養専門 課程	動物総合学科キャッ トマイスターコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	83 単位	35 単位	単位時間 ／単位	48 単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		77 人	0 人	3 人	2 人	5 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門 課程	動物総合学科動物福 祉介護コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	83 単位	35 単位	単位時間 ／単位	48 単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		77 人	0 人	3 人	2 人	5 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） カリキュラム検討委員会を毎月 1 回定期開催するとともに、不定期に年 5～10 回開催して、学生の習熟度を精査しながら当該年度のシラバスの内容を確認している。当委員会のメンバーは、各コースの教員で構成され、オブザーバーとして校長が出席している。 定期委員会では、スケジュールの進捗度と生徒の習熟度が議題の中心となる。不定期に行う委員会では、主に後期中盤から後半に開かれ、定期委員会の内容と G P A 評価に基づいた学生の成績評価を参考資料として、シラバスの改定を行う。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 学修成果の評価については、学校のホームページ上に公表しているシラバスに授業科目ごとに記載している。また、入学時のオリエンテーションにおいて、全学生に対して履修ガイドを配布し詳細な説明を実施するとともに、保護者にも送付し周知徹底している。 単位の認定は、下記の 2 項目を基準としている。 ① 授業への出席：出席率や授業態度を評価して、学生の学習意欲を把握し、点数化している。 ② 筆記試験及び実技試験：学修内容の習熟度を試験によって評価している。 ①②を総合的に本校で採用している G P A 基準で評価して、単位認定の可否を判定している。 試験問題の難易度は、試験問題作成教員に対して、平均で G P A 1.5 程度の問題レベルとするよう指示している。	

卒業・進級の認定基準	
(概要)	
卒業・進級認定方針の策定： 本校建学の精神に基づき、豊かな人格形成に努め、真に動物との共生実現に寄与できる心豊かなスペシャリストを育成し、社会ニーズに応えられる人材の輩出を第一義とする。これにより、本校で定めた認定基準に沿って判断される。判定会議により協議され、再評価後の単位取得状況が、下記の要件を満たす者が卒業・進級認定される。	
卒業要件	
① 取得単位数が所定の単位数の90%以上を取得していること	
② 実習科目の単位を全て取得していること	
③ 所定の学費を完納していること	
進級要件	
① 取得単位数が所定の単位数の80%以上を取得していること	
② 実習科目の単位を全て取得していること	
原則として所定の学費を完納していること	
学修支援等	
(概要)	
補習授業、個別指導、個別面談、保護者面談、三者面談の実施	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）				
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他	
28人 (100%)	0人 (0%)	27人 (93%)	1人 (6%)	
(主な就職、業界等) ペット業界（トリミングサロン、ペットショップ等）				
(就職指導内容) 就職対策講座、学内就職説明会、キャリアカウンセリング、履歴書添削、模擬面接				
(主な学修成果（資格・検定等）)				
資格	認定団体	受験	合格	合格率
ペットスタイリスト ブロンズクラス	ペットスタイリスト国際 協会	11	11	100%
トリマーC級	ジャパンケネルクラブ	15	15	100%
トリマー1級	日本動物専門学校協会	15	15	100%
ドッグエステティシ ャンアドバンス	日本動物専門学校協会	15	15	100%
キャットマイスター アドバンス	全国キャットクラブ	12	12	100%
ドッグトレーナー1 級	日本動物専門学校協会	10	10	100%

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66 人	7 人	10%
(中途退学の主な理由) 体調不良、学校生活不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組) 二者・三者面談の実施等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	動物水族飼育学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	97 単位	53 単位	単位時間 ／単位	47 単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		90 人	0 人	3 人	2 人	5 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) カリキュラム検討委員会を毎月 1 回定期開催するとともに、不定期に年 5～10 回開催して、学生の習熟度を精査しながら当該年度のシラバスの内容を確認している。当委員会のメンバーは、各コースの教員で構成され、オブザーバーとして校長が出席している。 定期委員会では、スケジュールの進捗度と生徒の習熟度が議題の中心となる。不定期に行う委員会では、主に後期中盤から後半に開かれ、定期委員会の内容と G P A 評価に基づいた学生の成績評価を参考資料として、シラバスの改定を行う。
成績評価の基準・方法
(概要) 学修成果の評価については、学校のホームページ上に公表しているシラバスに授業科目ごとに記載している。また、入学時のオリエンテーションにおいて、全学生に対して履修ガイドを配布し詳細な説明を実施するとともに、保護者にも送付し周知徹底している。 単位の認定は、下記の 2 項目を基準としている。 ① 授業への出席：出席率や授業態度を評価して、学生の学習意欲を把握し、点数化している。 ② 筆記試験及び実技試験：学修内容の習熟度を試験によって評価している。 ①②を総合的に本校で採用している G P A 基準で評価して、単位認定の可否を判定し

ている。
試験問題の難易度は、試験問題作成教員に対して、平均でGPA1.5 程度の問題レベルとするよう指示している。

卒業・進級の認定基準

(概要)

卒業・進級認定方針の策定：

本校建学の精神に基づき、豊かな人格形成に努め、真に動物との共生実現に寄与できる心豊かなスペシャリストを育成し、社会ニーズに応えられる人材の輩出を第一義とする。これにより、本校で定めた認定基準に沿って判断される。判定会議により協議され、再評価後の単位取得状況が、下記の要件を満たす者が卒業・進級認定される。

卒業要件

- ④ 取得単位数が所定の単位数の90%以上を取得していること
- ⑤ 実習科目の単位を全て取得していること
- ⑥ 所定の学費を完納していること

進級要件

- ③ 取得単位数が所定の単位数の80%以上を取得していること
 - ④ 実習科目の単位を全て取得していること
- 原則として所定の学費を完納していること

学修支援等

(概要)

補習授業、個別指導、個別面談、保護者面談、三者面談の実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	0人 (0%)	18人 (90%)	2人 (10%)

(主な就職、業界等)

ペット業界（動物園、観光牧場、アニマルカフェ等）

(就職指導内容)

就職対策講座、学内就職説明会、キャリアカウンセリング、履歴書添削、模擬面接

(主な学修成果（資格・検定等）)

資格	認定団体	受験	合格	合格率
動物飼育管理士	日本動物飼育協会	20	20	100%
水族飼育管理士	日本動物飼育協会	20	20	100%

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
64 人	5 人	7%
(中途退学の主な理由) 体調不良、学校生活不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組) 二者・三者面談の実施等		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
動物総合 学科	150,000 円	480,000 円	820,000 円	<その他の内訳> 教材費・実習費・施設設備 費・校友会費・健康管理費
動物水族 飼育学科	150,000 円	480,000 円	820,000 円	<その他の内訳> 教材費・実習費・施設設備 費・校友会費・健康管理費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				
本校独自の経済的支援制度 特待生制度・提携学生寮紹介制度 その他 日本学生支援機構奨学金、茨城県奨学資金、国の教育ローン、提携教育ローン				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ上に公開 http://www.aaa.ac.jp/koukai.html		
第三者評価の基本方針(実施方法・体制) 本校は、学校運営や教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ、財務、法令順守等について、動物関連分野の企業や協会関係者、保護者、卒業生等の学校関係者の意見を反映させることを目的に、学校関係者評価委員会を設置する。委員会の評価結果を謙虚に受け止め、動物専門学校としての本校の特色を踏まえ、改善しなければいけない課題や今後の取り組みについて、学校長を議長とする学内会議において協議し、より良い教育の場を目指し是正していくことを基本方針とする。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
アイ動物医療センターグループ代表 取締役	令和7年4月1日～令和 9年3月31日	企業等関係者
一般社団法人全国ペット協会会長	令和7年4月1日～令和 9年3月31日	業界関係者
アジア動物専門学校 保護者代表	令和7年4月1日～令和 9年3月31日	保護者
株式会社デン&ケリー 卒業生代表	令和7年4月1日～令和 9年3月31日	卒業生
第三者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

ホームページ上に公表

<http://www.aaa.ac.jp/koukai.html>

(備考)

経過措置として、学校関係者評価の内容を記載

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<http://aaa.ac.jp/>

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H108320500029
学校名（〇〇大学 等）	アジア動物専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人佐山学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		31人（ ）人	28人（ - ）人	31人（ - ）人
内 訳	第Ⅰ区分	11人	11人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅱ区分	-	-	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅲ区分	-	-	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ - ）人	
	第Ⅳ区分（理工農）	人	人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	-	-	
区分外（多子世帯）		-	-	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				31人（ - ）人
（備考）				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	0人	前半期	後半期
		人	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	-	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	-	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。